

井上眼科 だより

Inouye Eye Hospital NEWS

2018.10
vol.106

西葛西・井上眼科病院

【網膜硝子体の病気】

眼の中は、「硝子体」というゼリー状の組織で満たされていて、眼の形を保つのに役立っています。加齢によってこの硝子体が縮み、網膜からはがれることを「後部硝子体剥離」といいます。これは誰にでも起こる症状で生理的なものですので心配はいりませんが、網膜と強く癒着している箇所が引っ張られてしまうと網膜とともに剥離が起き、視力にとって重要な黄斑部分の中心に穴が開いてしまう「黄斑円孔」など、さまざまな病気に繋がります。

【緊急手術にも対応】

当院では、診療時間中に常時「網膜硝子体専門医」が在院しているので、柔軟に対応することができます。緊急性が高い患者さまには当日手術を行う場合もあり、入院も可能です。

「眼の手術」というと、痛いのか、まぶしいのか、違和感が



井上順治 院長

あるのかなど不安に思われる方も多いかと思いますが、ほとんどの手術は局所麻酔で行われ痛みはありません。手術中、患者さまの不安や緊張をできるだけ和らげるように、医師や看護師がお声がけをしています。万が一痛みを感じた場合はすぐに医師にお伝えください。

眼の疾患は、両目とも同時に悪くなるという事は少なく、片方の目に異変があっても、もう片方の目が補ってくれるのでなかなか気付きません。日ごろから片目ずつ手でふさいで、見え方のチェックをすると早く異変に気付くことができます。見え方がいつもと違うなと感じたり、気になることがあれば、すぐご来院ください。

西葛西・井上眼科病院 ご予約・お問い合わせ

☎03-5605-2100

月～土 8:30～16:30

西葛西 井上眼科

検索

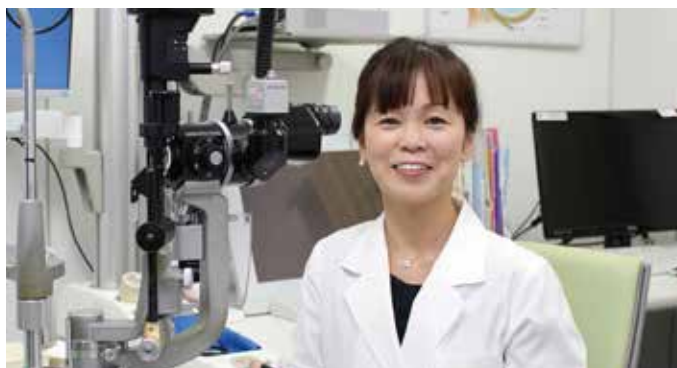
大宮・井上眼科クリニック

大宮・井上眼科クリニックは、患者さまのための「優しいクリニック」を目指して日々診療を行なっています。

医師の診察だけではなく、受付から始まり、待合、検査、診察、会計に至るまで、患者さまにはどの場面でも気持ちよく過ごしていただけるよう、全職員が丁寧に接するように心がけています。みなそれぞれの専門知識を持つ経験豊富な職員ですので、安心してお任せください。

診察では、患者さまが話しやすい、質問しやすい雰囲気大切にしています。眼に関して何か気になることやご質問がありましたら、遠慮なくご質問ください。できるだけわかりやすくご説明いたします。

最近では、当院を受診した患者さまや、手術をされた患者さまがご家族やご友人など、ご自身の大切な方に当院をご紹介して下さることが増えてきて、とても嬉しく思



野崎令恵 院長

います。

職員一同、患者さまお一人お一人に、心をこめて診療にあたります。お待ちいただく時間が長くなってしまうこともあるかもしれませんが、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

大宮・井上眼科クリニック ご予約・お問い合わせ

☎048-871-8471

月～土 8:45～12:00/13:30～17:00

大宮 井上眼科

検索

井上眼科だより

Inouye Eye Hospital NEWS

2018.10
vol.106



特集

- ・専門外来紹介:「ロービジョン外来」
- ・教えて先生!「涙道閉塞」ってどんな病気?

右から、井上賢治理事長、岡山良子院長(前)、方倉聖基医局長、鶴岡三恵子先生(後)

2018年も残すところ3ヶ月となりました。年頭から、井上眼科病院とお茶の水・井上眼科クリニックでは、来年1月にスタートする「電子カルテシステム」への移行に向けて準備を行ってまいりましたが、まさに大詰めを迎えています。開院以来、手書きのカルテを使って診療を行なってまいりましたが、すべて電子化することで、検査・診察の情報管理が一元化されます。患者さまの検査情報などをすぐに確認することができ、医師の診察がスムーズになります。

現在、医師・職員ともに研修を行っておりますが、慣れるには少し時間がかかるかもしれません。最初のうちは受付・会計・診察などでお待ちいただく時間が長くなり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、今回表紙に登場いたしました、方倉聖基先生は、涙のう炎や涙道閉塞の治療を行う「涙器外来」で診

察・手術を行うかたわら、当クリニックの医局長として、日々尽力されています。鶴岡三恵子先生は「ロービジョン外来」で見えにくさを感じている患者さまのお話を聞き、患者さまのニーズ分析や公的な支援制度の情報提供などを行っています。当グループ全体で取り組むロービジョンケアについて、中ページで詳しくご紹介していますので、ぜひご覧ください。

引き続き、お茶の水・井上眼科クリニックでは患者さまへの情報発信の一つとして「プレミアム白内障手術」「レーシック手術」「ICL(アイシーエル)手術」「しわ取りボトックス注射」の説明会を定期的に行っています。

患者さまのニーズやライフスタイルにあう治療をご提案し、さらなる医療サービスの向上に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お茶の水・井上眼科クリニック院長 岡山 良子

専門外来紹介

ロービジョン外来

「ロービジョン」とは、視覚に何らかの障害を持ち、生活に支障をきたした状態を言います。日本には明確な定義はなく、不便さを感じれば対象者としています。

井上眼科病院グループでは、治療を行う一方で、ロービジョンの方々がどのようなことで困っているのか、公的な支援制度を活用する事はできないかなど、日常生活をできるだけ快適に過ごせるよう患者さまの気持ちに寄り添ったロービジョンケアを行っています。

ロービジョン外来で行っていること

- ニーズの分析
- 視機能の評価
- 身体障害者手帳の申請や等級変更手続きについての書類作成
- 「目の相談室」との連携による、補助具の選定
- ソーシャルワーカー、患者会との連携
- 公的制度などの情報提供



お茶の水・井上眼科クリニック
西葛西・井上眼科病院
ロービジョン外来
鶴岡 三恵子 先生

井上眼科病院グループのロービジョンケア

■社会福祉サービスの相談窓口

社会福祉の専門家である、医療ソーシャルワーカーが医療費、生活費の相談や心理的、社会的なサポート、療養環境の調整を行います。視覚障害者が受けられる公的なサービスや社会保障制度などをご紹介します。



■見え方を助ける補助具をご紹介します

国家資格である視能訓練士が、日常生活での不便さや患者さまの現在の視機能を考慮して、ルーペや拡大鏡、拡大読書器、単・双眼鏡、遮光眼鏡など、見え方を助けるための補助具をご紹介します。



■生活に役立つIT活用術をご紹介します

自らもロービジョンである職員が、タブレットやスマートフォンなどIT機器の視覚補助機能を活用した「ITサポート」を行っています。当事者だからこそわかりあえる不安や悩み、不便さなどをお聞きし、自らの経験をかいたアドバイスを行っています。



外部施設との連携



■見えにくさ相談会…社会福祉法人日本点字図書館

視覚障害者生活訓練専門職員に、ルーペや拡大読書器、白杖などの活用法をご相談いただけます。

また、見え方に配慮された便利グッズを展示し、実際に試していただくこともできます。



■見え方と進学相談会…都内盲学校、弱視学級教諭、眼科医、視能訓練士 等

小学校から20歳未満のお子さまの見え方や、進級・進学について、都内盲学校、弱視学級の教諭と連携し、情報交換や相談会を定期的に開催しています。

教えて先生！「涙道閉塞」ってどんな病気？

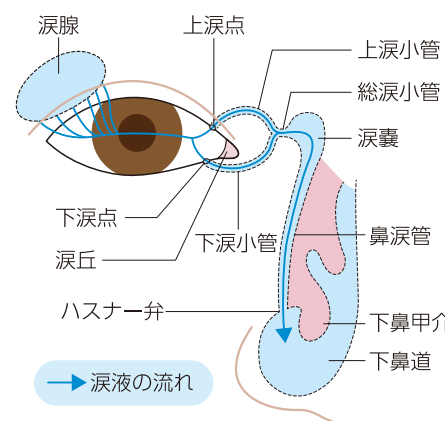
眼の表面は常に涙で覆われています。涙腺で作られた涙は眼球の表面を潤し、涙小管、涙嚢、鼻涙管を経て鼻内へとながれます。(右図)この涙の通り道のどこかが詰まってしまうのが『涙道閉塞』です。

〈症状〉

◎涙目の状態が続く ◎目やにが大量に出る など

〈治療〉

局所麻酔をしてから「涙道内視鏡」を使って閉塞部を解除させ、シリコンのチューブを挿入して経過観察を行います。これらの方法で改善しない場合や、閉塞を何度も繰り返してしまう場合などは「涙嚢鼻腔吻合術(DCR)」を行います。皮膚を切開する方法(鼻外法)と鼻内視鏡を使って鼻の中からおこなう方法(鼻内法)があります。治療は、患者さまの症状にあわせて、担当医が最善の方法を選択します。



涙道の構造と涙液の流れ図

こんな症状があったら要注意!

- 泣いていないのに、涙があふれて視界がぼやける
 - めやにがたまりやすい
- 気になる症状がある方は、担当医にお伝えください。



お茶の水・井上眼科クリニック
涙器外来
方倉 聖基 先生

電子カルテ導入のお知らせとお願い

井上眼科病院とお茶の水・井上眼科クリニックでは2019年1月5日(土)より、電子カルテを導入することになりました。

カルテの電子化により情報共有や伝達がスムーズになり、効率的な診療が可能となることでサービス向上につながると考えております。

導入に際しまして、職員が不慣れな点や想定外のトラブルによって、受付・会計・診療等でお待ちいただく時間が長くなることも予想されます。しばらくの間、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆新入局医師のご紹介◆



小原 賢一
(おはら けんいち)
西葛西・井上眼科病院

主に硝子体疾患の診療及び手術を専門としております。白内障、緑内障、硝子体、眼瞼など、幅広く手術を行っております。また、難治性の血管新生緑内障に対する手術療法にも力を入れてきました。手術だけではなく、受診して頂く患者さまに、今日も来て良かったと毎回思っております。誠心誠意努めてまいりますので、宜しくお願い致します。



山内 啓子
(やまの うち けいこ)
お茶の水・井上眼科クリニック

大学及び関連病院を経た後、26年間地域医療に携わってきました。一人ひとりの患者さまを長期にわたって拝見できたことは得難い経験でした。患者さまを通して学んだことを今後の診療の中でも生かせるようにしたいと思います。



全国で活躍中の井上眼科 OB の先生方を紹介！

高輪台眼科クリニック

社本 真紀 院長

2003年～2005年 井上眼科病院



落ち着いた雰囲気の内観



社本院長(左)と当院の井上(右)

今回ご紹介するのは、東京都港区の「高輪台眼科クリニック」院長 社本真紀先生です。社本先生は、地方の大学病院・総合病院での勤務を経て井上眼科病院に入職されました。当時を振り返り「全国からたくさんの患者さまが来院されている様子に圧倒されましたが、諸先生方に丁寧にご指導いただき、恵まれた環境で幅広く勉強させていただけたことで、眼科医としての今の自分があると感謝しています。」とおっしゃいました。

社本先生のクリニックは、高輪台駅から徒歩1分の場所にあるメディカルビル7階にあり、駅からのアクセスも良好です。忙しい方

にも受診していただけるよう、待ち時間をできるだけ短くするために予約診療を取り入れています。また「眼の総合病院として専門外来が充実している井上眼科病院との病診連携で、質の高い医療を患者さまに、提供できることが強みです。いつも丁寧な診察してくださる先生方には大変感謝しております」とお話をいただきました。

「前理事長の故・井上治郎先生がおっしゃっていた『患者さまは家族だと思って親切に』という言葉に心に刻み、地域の方々の「目のかかりつけ医」として患者さまに寄り添った丁寧な診療を心がけてまいります」

クリニック情報

高輪台眼科クリニック

〒108-0074 東京都港区高輪3-8-17 メディカルプライム高輪 7階 ☎ 03-6277-2460
ホームページ <https://takanawadai-eyeclinic.com/>